

委託者さまによる振替口座情報管理型(マルチ方式)

■ データの内容

a. ヘッダー・レコード

項番	項目	属性	桁数	内容
1	データ区分	数字	1	『1』
2	種別コード	数字	2	『98』
3	コード区分	数字	1	『1』
4	委託者番号	数字	10	明治安田収納ビジネスサービス株式会社が定める番号を記録する
5	委託者名	カナ	40	半角カナ文字により左づめ後『スペース』で記録する
6	振替日	数字	4	振替日を月日(例:1月27日は『0127』)で記録する (当日が金融機関休業日の場合でも12日または27日により記録可)
7	グループコード	数字	5	MBSが定めるコードを記録する
8	ダミー	カナ	57	スペース

b.データ・レコード

項番	項目	属性	桁数	内容
1	データ区分	数字	1	『2』
2	振替金融機関番号	数字	4	預金者が指定する振替先の金融機関番号を記録する(ゆうちょ銀行は『9900』)
3	振替金融機関名	カナ	15	スペース
4	振替金融機関店舗番号	数字	3	預金者が指定する振替先の金融機関店舗番号を記録する。ゆうちょ銀行は通帳記号5桁のうち1桁目(『1』)と5桁目(『0』)を除く中3桁を記録する
5	振替金融機関店舗名	カナ	15	スペース
6	ダミー	カナ	4	スペース
7	預金種目	数字	1	預金者の指定する預金種目を記録する 普通(総合) ---『1』 当座 ---『2』 ゆうちょ銀行は『1』を記録する
8	口座番号	数字	7	預金者の指定する口座番号を右づめ前『0』で記録する ゆうちょ銀行は通帳番号8桁のうち8桁目(『1』)を除く先頭から7桁を記録する
9	預金者名 (口座名義人)	カナ	30	預金者名を半角カナ文字により左づめ後『スペース』で記録する
10	請求金額	数字	10	振替請求金額を右づめ前『0』で記録する
11	新規コード	数字	1	(1)初回請求分、*口座番号等変更後初回請求分、および初回請求分以降、引き続き資金不足以外の振替不能となっている請求分について、『1』を記録する (2)上記以外の請求分は『0』を記録する *預金口座振替依頼書のご提出に基づき振替金融機関、店舗、預金種目、口座番号または預金者名(口座名義人)が変更されたとき

明治安田収納ビジネスサービス (株)

12	顧客番号	数字	20	頭 10 桁は委託者番号(MBS 指定) 残り 10 桁は委託者さまが使用する顧客 番号(数字のみ)を右づめ前『0』で記録す る
13	振替結果コード	英数字	1	(1)請求時は『0』とする。 (2)振替後、金融機関から連絡された次 のコードを MBS が記録する 振替済 --『0』 資金不足 --『1』 取引なし --『2』 預金者の都合による振替停止 --『3』 依頼書なし --『4』 委託者さまの都合による振替停止 --『8』 その他 --『9』 (3)振替時に不備のあるデータ・レコード は、金融機関に請求せず MBS が『E』を 記録する
14	ダミー	カナ	8	スペース

c. トレーラ・レコード

項番	項目	属性	桁数	内容
1	データ区分	数字	1	『8』
2	合計件数	数字	6	データ・レコード件数を右づめ前『0』で記録する
3	合計金額	数字	12	データ・レコードの請求金額の合計額を右づめ前『0』で記録する
4	振替済件数	数字	6	(1)請求時は、すべての桁を『0』とする (2)振替後、振替済の件数を MBS が記録する
5	振替済金額	数字	12	(1)請求時は、すべての桁を『0』とする (2)振替後、振替済の請求金額の合計額を MBS が記録する
6	振替不能件数	数字	6	(1)請求時は、すべての桁を『0』とする (2)振替後、振替不能件数および不備となった件数を MBS が記録する
7	振替不能金額	数字	12	(1)請求時は、すべての桁を『0』とする (2)振替後、振替不能の請求金額および不備となった請求金額の合計額を MBS が記録する
8	ダミー	カナ	65	スペース

d. エンド・レコード

項番	項目	属性	桁数	内容
1	データ区分	数字	1	『9』
2	ダミー	カナ	119	スペース

注意事項

各項目が所定の桁数に満たない場合

- a. 『委託者名』、『預金者名』
左づめとし、残りを『スペース』とする。
- b. 『口座番号』、『請求金額』、『合計件数・金額』
右づめとし、前『0』とする。

振替金融機関番号および店舗番号(ゆうちょ銀行を除く)

振替金融機関番号および店舗番号(ゆうちょ銀行を除く)は、全国銀行協会制定の『金融機関コード便覧』に記載されたものを使用する。